

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 30年 4月 28日

1. 初期支援（はじめのかかわり）

メンバー 桜庭、菊地、今、小島、藤井、加藤
山本、岸、藤岡、本間、長谷川、山田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組めましたか？	1人	9人	2人	人	12人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日伝達ノートを読覧する時間を設定（決める）する。 ・新規利用者様の受け入れ後の早目の時期（1週間～10日以内）にミニケース会議を行う。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の職員が出勤時に伝達ノートを確認し、情報の伝達をスムーズに行えている。 ・ケース会議は実施できていないが、日々のミーティングの中で介助方法などの検討を実施中。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか？	1	10	0	1	12
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか？	3	5	4	0	12
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか？	2	9	1	0	12
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか？	2	9	1	0	12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・伝達ノートや毎日3回実施しているミーティングを利用し、利用者様の情報共有が出来ている。 ・新規利用者様へ笑顔で接し、挨拶やコミュニケーションをとっている。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・ミーティング実施中に利用者様の介助があり途中で抜けることがある。（抜けた情報はミーティング終了後に必ず確認している） ・ご家族様の希望や要望を把握しきれていない。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・新規利用者様への笑顔での対応を継続しつつ、ご家族様からの希望を聞き入れていく。 ・職員全員が積極的に利用者様やご家族様と接していく。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 桜庭、菊地、今、小島、藤井、加藤
山本、岸、藤岡、本間、長谷川、山田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	7人	1人	4人	12人

前回の改善計画

- ・利用者様との関わり不足からくる観察力不足や利用者様の心身の状態の理解とその情報の共有不足を解消するため、個々の全体像が分かりやすいツール等を作成する。

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・それぞれの利用者様に担当職員を配置し、個々の目線や他の職員から利用者様の情報を集約し情報シートを作成中。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	0	3	6	3	12
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	0	4	6	2	12
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	0	4	6	2	12
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	1	6	4	1	12

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・ミーティング等で情報共有し、利用者様の状態を把握出来るようになり、個々の対応をしやすくなった。
- ・個々の情報シートを作成し、利用者様の状況を職員が理解できるようになった。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・情報シートがすべての利用者様の分が完成しておらず、目標を把握しきれていない。
- ・ケアプランの確認が出来ておらず、長期・短期目標を把握していない。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

- ・早期に情報シートを完成させ、職員全体が周知徹底できる体制を作る。
- ・ケアプランの確認を徹底し、利用者様の様々な状況の把握に努める。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	
------------------	-----	--

3. 日常生活の支援	メンバー	桜庭、菊地、今、小島、藤井、加藤 山本、岸、藤岡、本間、長谷川、山田
------------	------	---------------------------------------

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組めましたか？	1人	7人	4人	0人	12人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・一日一回は利用者様との毎日のコミュニケーション時に昔話やその方の生活歴等その人なりが分かるような事柄を具体的に聞き取り、アイパットに簡潔にまとめて記録入力し情報収集する。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・日々のコミュニケーションの中で、取得できる情報は拡散・記録入力を実施している。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか？	0	2	7	3	12
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか？	3	9	0	0	12
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか？	1	5	4	2	12
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか？	3	9	0	0	12
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか？	3	9	0	0	12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・利用者様の様々な変化に気づき、職員間での発信・共有・話し合いをして対応できている。 ・コミュニケーションの中で、色々な情報を引き出している。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・「以前の暮らし方」を10個以上は把握できていない。 ・利用者様の利用前の生活環境をある程度しか把握していない。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・積極的な情報収集を継続し、生活歴を活かしたその方らしい暮らしをして頂けるような支援を実施する。 	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日					
4. 地域での暮らしの支援	メンバー	桜庭、菊地、今、小島、藤井、加藤 山本、岸、藤岡、本間、長谷川、山田				
◆前回の改善計画に対する取組み状況						
個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	0人	2人	3人	7人	12人
前回の改善計画		<ul style="list-style-type: none"> ・ 自社パート職員も含め全員から地域の情報を聞き取り活用できるよう紹介して頂いたり事業所との橋渡し役や紹介して頂く等依頼していく。＜新たな地域資源を探す＞ 				
前回の改善計画に対する取組み結果		<ul style="list-style-type: none"> ・ 職員からの聞き取りは実施したものの、個々の情報には限界があり、目新しい情報取得には至っていない。 				
◆今回の自己評価の状況						
個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか？	0	6	4	2	12
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか？	0	4	3	5	12
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか？	0	3	4	5	12
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか？	0	2	1	9	12
できている点		200字程度で、できていることと、その理由を記入すること				
<ul style="list-style-type: none"> ・ コミュニケーションの中で、生活スタイルやご家族様との関係など、把握できる範囲で聞き取り職員間で共有している。 						
できていない点		200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること				
<ul style="list-style-type: none"> ・ ある程度の資源を把握はしているが、地理的に地域の資源が少ない。 ・ 自宅から通所されている利用者様の生活情報が少ないため、施設外での過ごし方を把握していない。 						
次回までの具体的な改善計画		(200字以内)				
<ul style="list-style-type: none"> ・ 職員が積極的に地域資源の聞き取りや、ご家族様との交流を通して利用者様の生活情報の収集に努める。 						

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日
------------------	-----

5. 多機能性ある柔軟な支援	メンバー 桜庭、菊地、今、小島、藤井、加藤 山本、岸、藤岡、本間、長谷川、山田
----------------	---

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	7人	5人	0人	0人	12人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> 毎月、日中の時間を利用してパートさんも参加して頂く会議を開催する。
---------	---

前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> 会議という形ではないが、日々のミーティング（申し送り）を朝・夕の2回から朝・昼・夕の3回に増やしたことにより、情報共有ができ、柔軟な支援が可能になった。
------------------	--

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか？	0	4	3	5	12
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか？	7	5	0	0	12
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか？	5	7	0	0	12
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか？	5	7	0	0	12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ミーティングの回数を増やしたことにより、情報共有量が増え、利用者様の体調や状況に応じた対応を実施できている。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 施設内での活動を中心に考えてしまうため、地域資源を活用できていない。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ミーティングでの情報共有を継続し、利用者様の変化や状態に対応する。 	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日
------------------	-----

6. 連携・協働	メンバー 桜庭、菊地、今、小島、藤井、加藤 山本、岸、藤岡、本間、長谷川、山田
----------	---

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	0人	4人	0人	8人	12人

前回の改善計画

- ・サービス担当者会議に出来るだけ介護職員が1名は参加する。
- ・福祉用具やご家族様に参加されない場合は事業所の職員のみでもサービス担当者会議を開催して行く。

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・少しずつではあるが、サービス担当者会議に介護職員が参加している。担当が不在の場合でも、他の職員が出席している。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	0	2	2	8	12
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	0	1	3	8	12
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	0	1	3	8	12
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	0	3	1	8	12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
--------	------------------------------

- ・運営推進会議への積極的な参加を実施している。
- ・各種サービス機関や地域包括支援センターとの会議には、ケアマネージャーが出席している。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
---------	-------------------------------

- ・地域のイベントや活動は、どのようなことを実施しているかわからないため参加できていない。
- ・介護職員が出席できる会議がない（事業所外の研修は積極的に参加している）。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
---------------	----------

- ・サービス担当者会議や運営推進会議等、地域や関係機関との会議への積極的な参加。
- ・地域のイベント活動確認と参加。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	
------------------	-----	--

7. 運営	メンバー	桜庭、菊地、今、小島、藤井、加藤 山本、岸、藤岡、本間、長谷川、山田
-------	------	---------------------------------------

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	0人	2人	3人	7人	12人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・小規模多機能居宅介護や介護保険制度の勉強会を自社内で開催する。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・実施に至っていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか？	1	2	3	6	12
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか？	2	7	3	0	12
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか？	0	2	3	7	12
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか？	0	3	2	7	12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・ご家族様からの意見や苦情を受け止め、施設長を中心として職員全員で共有・修正し、日々の業務に反映している。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・積極性がなく、自分の意見を発言することがなかった。 ・地域との協働した取組み自体がどのようなものかわからないため出来ていない。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・自社内での勉強会実施と月一度の目安で業務会議の実施。 ・職員の発言の場を作り、運営に反映させていく。 	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日
------------------	-----

8. 質を向上するための取組み	メンバー 桜庭、菊地、今、小島、藤井、加藤 山本、岸、藤岡、本間、長谷川、山田
-----------------	---

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	0人	3人	1人	8人	12人

前回の改善計画

- ・町内会議に職員として参加する。
- ・職員全員に参加したい研修の傾向や希望する内容等についてアンケートを実施する。

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・職員全体に研修内容アンケートを実施。結果、社内研修にて基本的な介助（オムツ交換、移乗介助）や緊急時対応の研修を実施している。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	研修（職場内・職場外）を実施・参加していますか	7	4	0	1	12
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	4	3	1	4	12
③	地域連絡会に参加していますか	2	0	2	8	12
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	2	3	3	4	12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
--------	------------------------------

- ・事業所内・外研修やスキルアップ研修に積極的に参加している。
- ・職場内で不足している介護技術や知識の勉強会を開催している。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
---------	-------------------------------

- ・リスクマネジメントに対する対応は経験不足感がある。
- ・地域連絡会に参加できていない。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
---------------	----------

- ・引き続き事業所内・外での研修への積極的な参加。
- ・リスクマネジメントに取り組み、職員間で周知徹底する。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	
------------------	-----	--

9. 人権・プライバシー	メンバー	桜庭、菊地、今、小島、藤井、加藤 山本、岸、藤岡、本間、長谷川、山田
--------------	------	---------------------------------------

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組めましたか？	5人	6人	1人	0人	12人

前回の改善計画

- ・申し送り時など話し合う内容によっては利用者様に配慮しながら伝え方の工夫や伝達方法を構築し周知徹底する。
- ・虐待や身体拘束・人権擁護等についての事業所内研修を重ね職員全員が参加し勉強会の機会を増やす。

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・勉強会には至ってないが、資料を作成・配布し、職員一人一人が意識づけするようになっている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	身体拘束をしていない	9	2	0	1	12
②	虐待は行われていない	11	1	0	0	12
③	プライバシーが守られている	8	3	1	0	12
④	必要な方に成年後見制度を活用している	1	1	0	10	12
⑤	適正な個人情報の管理ができている	7	2	1	2	12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
--------	------------------------------

- ・利用者様に対する言葉遣いやプライバシーの配慮を常に心がけ、実行している。
- ・身体拘束はおこなわれていない。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
---------	-------------------------------

- ・利用者様への声掛けの中には、時折きつい言葉になっている場合がある。
- ・成年後見人制度の仕組みや、活用方法がわからない。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
---------------	----------

- ・利用者様の人権擁護のために、虐待や身体拘束についての勉強会の実施。
- ・職員個々が改めて言葉使いやプライバシーに配慮し、実践する。

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	日成工業株式会社	代表者	池田 郁乃
事業所名	小規模多機能ホーム あさがお	管理者	池田 郁乃
法人・事業所の特徴	平成22年5月に小規模多機能型事業所を開所。平成23年3月に高齢者下宿あさがお館、平成25年11月に高齢者下宿乃のはなを開所（両下宿は平成27年4月に住宅型有料老人ホームへ登録変更）。平成30年4月には住宅型有料老人ホーム乃のはな新館を開所。 柔軟なサービスと生活全般の支援を軸として、利用者様の健康寿命を延ばすべく職員一丸となり利用者様やご家族様が満足し、笑顔で過ごせるような介護サービスを提供します。		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	人	2人	人	人	1人	人	12人	人	15人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取り組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	小規模多機能居宅介護や介護保険制度の勉強会を自社内で開催する。	実施に至っていない。	勉強会の実施は定期的に行った方がいい。自己評価はしっかりと行っている。	勉強会の実施を急務とし、職員全体で自己評価の意味を理解する。改善計画を基として、事業所全体で真摯に取り組んでいく。
B. 事業所のしつらえ・環境	伝達ノートを開覧する時間を設定する。新規利用者様の受け入れ後の早めの時期（1週間～10日以内）にミニケース会議を行う。	個々の職員が出勤時に伝達ノートを確認し、情報の伝達をスムーズに行えている。ケース会議は実施できていないが、日々ミーティングの中で介助方法などの検討を実施中。	計画に対しての取り組み・結果共に良い状況になっている。	来客への挨拶や対応、電話での応対等の接遇・マナーについての周知を徹底し、利用者様やご家族様や地域の方々・来訪された方々が素敵な事業所であると思っただけでいいような環境作りを実施する。
C. 事業所と地域のかかわり	自社パート職員も含め全員から地域の情報を聞き取り活用できるように紹介して頂いたり事業所との橋渡し役や紹介して頂くなど依頼していく。（新たな地域資源を探す）	職員からの聞き取りは実施したものの、個々の情報には限界があり、目新しい情報取得には至っていない。	事業所の前を通った時に、気軽に立ち寄れる位に周知してもらえようかな場所を指してみてもいいかな？	町内会議やイベントなど積極的に参加し、事業所をより周知していただくことにより、地域の方々に気軽に立ち寄りいただいたり、相談できるような事業所を目指す。
D. 地域に向いて本人の暮らしを支える取り組み	町内会議に職員として参加する。	町内会議の日程や、その他イベントや活動内容を把握出来ていないため参加できていない。	町内会議やイベントに出席して、利用者様だけではなく地域の方々が困っているときに力になっていただきたい。	職員が積極的に地域資源の聞き取りや、ご家族様との交流を通して利用者様の生活情報の収集に努める。

<p>E. 運営推進会議を 活かした取組み</p>	<p>会議に介護職員が最低1名参加する。</p>	<p>日程に合わせ、介護職員が運営推進会議の積極的な参加を実施している。</p>	<p>今後も変わらず定期的に会議を実施していただく、情報交換をしていきたい。</p>	<p>町内・地域内の情報（イベントや会議、暮らししている方々の情報）を推進会議で聞き取り、参加や相談等を事業所側から積極的に声掛けする。</p>
<p>F. 事業所の 防災・災害対策</p>	<p>いつ、何処で防災訓練が開催されるか事前に情報収集し参加していきたい。</p>	<p>事業所内の防災訓練は、防火管理者が中心となり避難訓練・防災総合訓練を実施できている。また、事業所内で自主点検を実施し、記録に残している。自治体の消防訓練は日程や実地内容を把握しておらず、参加できていない。</p>	<p>事業所の防災訓練の参加を検討する。</p>	<p>引き続き事業所内の避難・防災訓練を実施、自主点検を継続し防災に努める。自治体の訓練日程の把握と参加に努める。</p>

外部評価 地域かかわりシート②（結果まとめ様式）

A. 事業所自己評価の確認

No.	項目	はい	いいえ	わからない
1	少なくとも常勤のスタッフが全員で事業所自己評価に取り組んでいることが確認できましたか？	3	0	0
2	事業所自己評価を作成する際、事業所の常勤スタッフ全員の意見が反映されていることが確認できましたか？ ※ただし、ミーティングの場面では常勤職員の2/3以上の参加が望ましい	3	0	0
3	前回の改善計画に対して、スタッフ全員で具体的な取組みが行われていましたか？	1	0	2
4	今回の改善の必要な点が明らかになり、その改善計画が具体的に立てられていますか？	2	0	1

【上記4つのチェック項目に関する意見】

※結果ではなく、事業所自己評価に取り組んだ経過（姿勢）に対する意見

【前回の改善計画に対して意見】

※前回の改善計画に対しての取組み結果に対する意見

【今回の9つのテーマごとに記入された改善計画に対する意見】

※今回の改善計画が具体的かつ達成可能な計画になっているかについての意見

【「自己評価」をテーマにした自由意見】

平成29年度 第6回運営推進会議議事録「⑤について」に記載（別紙参照）

【改善計画】※後日記入

- ・勉強会の実施を急務とし、職員全体で自己評価の意味を理解する。
- ・改善計画を基として、事業所全体で真摯に取り組んでいく。

B. 事業所のしつらえ・環境

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取り組んでいましたか？	2	0	1
1	家族や地域の方が、事業所に入りやすい工夫がなされていますか？	1	0	2
2	事業所は、居心地がいい空間になっていますか？	2	0	1
3	事業所内・外に、不快な音や臭い等はないですか？	3	0	0
4	日中、事業所の門や玄関にカギはかかっていますか？	3	0	0

【上記5つのチェック項目に関する意見】

【前回の改善計画】

- ・毎日伝達ノートを閲覧する時間を設定する。新規利用者様の受け入れ後の早めの時期（1週間～10日以内）にミニケース会議を行う。

【「事業所のしつらえ・環境」をテーマにした自由意見】

平成29年度 第6回運営推進会議議事録「⑤について」に記載（別紙参照）

【今回の改善計画】※後日記入

- ・来客への挨拶や対応、電話での対応等の接遇・マナーについての周知を徹底し、利用者様やご家族様や地域の方々が素敵な事業所であると思っただけのような環境作りを実施する。

C. 事業所と地域のかかわり

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取り組んでいましたか？	0	1	2
1	職員はあいさつできていますか？	3	0	0
2	事業所は、地域の方に知られていますか？	1	1	1
3	何か困りごとや相談ごとがあった場合に、事業所は相談しやすい場所になっていますか？	0	1	2
4	事業所のスタッフは、地域の行事やイベントに参加していますか？	0	1	2

【上記5つのチェック項目に関する意見】

【前回の改善計画】

- ・ 自社パート職員も含め全員から地域の情報を聞き取り活用できるよう紹介して頂いたり、事業所との橋渡し役や紹介して頂くなど依頼していく。〈新たな地域資源を探す〉

【「事業所と地域のかかわり」をテーマにした自由意見】

平成29年度 第6回運営推進会議議事録「⑤について」に記載（別紙参照）

【改善計画】※後日記入

- ・ 町内会議やイベントなど積極的に参加し、事業所をより周知していただくことにより、地域の方々に気軽にお立ち寄りいただいたり、相談できるような事業所を目指す。

D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	0	2	1
1	利用者を事業所の中だけに閉じ込めていませんか？	3	0	0
2	利用者本人が住んでいる地域の方を交えた会議が行われていますか？	1	0	2
3	事業所の利用者は、地域の行事やイベントに参加していますか？	0	1	2
4	利用者以外のご近所の心配な方に、事業所はかかわっていますか？	0	1	2

【上記5つのチェック項目に関する意見】

【前回の改善計画】

- ・町内会議に職員として参加する。

【「地域に出向いて本人の暮らしを支えている」をテーマにした自由意見】

平成29年度 第6回運営推進会議議事録「⑤について」に記載（別紙参照）

【改善計画】※後日記入

- ・職員が積極的に地域資源の聞き取りや、ご家族様との交流を通して利用者様の生活情報の収集に努める。

E. 運営推進会議を活かした取組み

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	2	1	0
1	運営推進会議では、事業所の取組みが解かりやすく説明されていますか？	3	0	0
2	運営推進会議では、地域の心配の方等の事例検討が行われていますか？	0	2	1
3	運営推進会議では、地域での取組みを一緒に取組もうとしていますか？	1	0	2
4	運営推進会議で出た意見を、改善につなげていますか？	2	0	1

【上記5つのチェック項目に関する意見】

【前回の改善計画】

- ・会議に介護職員が最低1名参加する。

【「運営推進会議を活かした取組み」をテーマにした自由意見】

平成29年度 第6回運営推進会議議事録「⑤について」に記載（別紙参照）

【改善計画】※後日記入

- ・町内・地域内の情報（イベントや会議、暮らしている方々の情報）を推進会議で聞き取り、参加や相談等を事業所側から積極的に声掛けする。

F. 事業所の防災・災害対策

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取り組んでいましたか？	0	1	2
1	事業所の防災計画（火災・風水害・地震等）を知っていますか？	0	1	2
2	事業所は、地域の防災訓練に参加・参画していますか？	0	1	2
3	事業所の防災訓練に参加したことがありますか？	0	3	0
4	災害時、事業所は頼りになりそうですか？	1	0	2

【上記5つのチェック項目に関する意見】

【前回の改善計画】

- ・いつ、何処で防災訓練が開催されるか事前に情報収集し参加していきたい。

【「事業所の防災・災害対策」をテーマにした自由意見】

【改善計画】※後日記入

- ・引き続き事業所内の避難・防災訓練を実施、自主点検を継続し防災に努める。
- ・自治体の訓練日程の把握と参加に努める。

⑤について

質問者：事業所と地域のかかわりが現在のあさがおの課題となると思う。町内会の回覧板を利用した事業所の特徴の拡散（回覧板用の新聞や広報の作成）、防災訓練の日程を知らせ、町内への参加の呼びかけ実施、事業所前を通った時に気軽に立ち寄れるような町内に馴染んだ事業所となっていたきたい。

池田より：おっしゃる通りで、今後は広報の作成と回覧・町内会への出席・町内会行事への参加や事業所行事参加呼びかけ等、積極的に実施していきたい。

質問者：学校やボランティアの方々との交流はどうか？

池田より：毎年附属中学校の生徒さんが職業体験として何名か実習に来ている。直接身体介助はできないが、利用者様との交流を通して介護のすばらしさや楽しさを体験している。

質問者：社協ボランティアセンターがあり、そちらに連絡すると子供たちの夏休みや冬休みなどの長期の休みの時に各施設や事業所にボランティアに参加することができる。そういったことを利用してもよいと思う。子供たちの参加により、親や大人たちへ事業所を知っていただく機会にもなるし、介護の仕事に興味を持っていただくことにも繋がる。

池田より：貴重な意見であり、今後の参考にさせていただきたい。介護の仕事は万年人手不足に悩まされているため、まずは少しでも興味を持っていただくところから始めていき、少しでも担い手が多くなるように努力していきたい。

質問者：外部評価様式について、この評価様式は主観先がわからない。各項目の文章は、評価をする人によって違わなければいけない。利用者様であったり、ご家族様であったり、地域の方々や包括の方々や町内会長様でもそれぞれに見る目線が違う。今の書式のままで非常に評価がしにくい。

また、評価自体も「はい」「いいえ」では、○か×かをつけなければならないようでとてもつけにくい。5段階評価にしてみてもどうか？

池田より：書式については、市役所に確認をして、わかりやすく且つ明確にしていきたい。今回の外部評価と自己評価を基として、今後の事業所の方針や目標を設定していく。いろいろな方々の思いや考えを尊重しながら、今後益々沢山の方からあさがおを利用したいと思っていただけるような事業所を目指していく。